

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		11/27-12/4	12/4-11	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.039	不検出
		セシウム137	0.600	0.059
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	0.018
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.016	0.017
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.026
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.030	0.032
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.032
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.033	0.025
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.064	0.033

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		11/27-12/4	12/4-11	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.017
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.022	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

今回の大気中の浮遊塵の放射能測定は、セシウム137濃度が0.05mBq/m<sup>3</sup>程度と事故による過剰被ばくを全く考えなくて良い状態ですのでご安心ください。今春には、常磐線全線が運行を再開します。これで、震災前の状況に戻れるというのは、早計ですが、皆様の心の励みになればと願っています。